

アメリカンハウスビレッジ

全国に点在するアメリカンハウス。

そこには普通の日本の生活とは違う「アメリカ」が存在し、アメリカ的な雰囲気を作り出している。そして、そこは自由な雰囲気求めた芸術家達が生活し新しい文化を作り出す創造の場でもあった。

建物も建築家アントニン・レーモンドが設計したものもあり、歴史的価値も高い。

これらのアメリカンハウスを移築して新たな街として、そして創造の場、生活の場としてのアメリカンハウスビレッジを提案する。

場所は、～青森県三沢市米軍基地近辺～

～はじめに～

私が住んでいた三沢市は、米軍基地があり、米軍向けのハウスも存在する。

そして、三沢市がアメリカと関わっているのは米軍基地があるという点だけではない。

ミス・ビードル号が三沢市から飛び立ち41時間10分後に米国ワシントン州ウェナッチ地区に到着し、人類初の太平洋無着陸横断飛行に成功したことからウェナッチ市と姉妹都市を締結して今でも姉妹都市交流は続けられている。

私達の身近にいるアメリカ人の文化を広め良く知ることでもできるアメリカ風の家を建て、アメリカ式の暮らしを体験するという宿泊プランを提案したい。

～計画～

まず、米軍基地内にアメリカ風の家を移築、建てる。

その家の中では実際にアメリカ人がしている暮らしを体験してもらうため、内装やインテリアなどもアメリカ独自のものにする。そして、そこで生活する際のルールも作ると良いと思う。

例えば、クツをはいたまま生活するなどだ。

そこで、三沢独自のプランを考えてみた。

- ① リンゴ
- ② 飛行機
- ③ アーティスト
- ④ ショップ
- ⑤ 学習



・青森県で有名、そしてウェナッチ市とも関わりのあるりんごを育てる過程を体験してもらいたいと思う。りんごは苗木から育てると約3年で収穫できるまじになるらしい。その3年間でりんごの木に関わってくれた人達をよびその人達以外にも参加できるイベントを開くことによつて観光客をよびよせることにつながるだろう。

他にも、そこ育てたりんごやりんごの木を使った限定のアイデア商品を作ることや冬の時期には木にイルミネーションができればと考えている。



・三沢市では航空機も有名だ。人類初の太平洋無着陸横断飛行を成功させたミス・ビードル号や毎年、開催されている航空祭での戦闘機のアクロバット飛行などがある。

市内には航空科学館という施設があり、航空機の展示、アトラクションの設備が備わっている。

しかし、この施設の利用者はほとんどが市民で活用されていないのが現状だ。

そこで、せっかくある米軍基地の人達の協力のもと航空機の搭乗、基地内の見学を宿泊プランにプラスすることで、観光客ももっと増えることだろう。

そのプランに航空科学館も取り入れることができれば施設の最大活用になる。



最終的には、基地内に住んでいるアメリカ人の人とふれ合う機会を作れればと思う。

例えば、宿泊施設にアメリカ人の人も実際に泊まってもらい一緒に生活してみるなどだ。

この様なふれあいがあることで今以上にお互いの事、文化をり深く知り、より良い国際交流の架け橋になればと思う。

